

## 平成26年度市税の当初予算について

■市税収入は、1,566億3,830万円(前年度比18億9,390万円の増、+1.2%)

平成26年度の市税収入は、個人市民税や法人市民税、市たばこ税などにおいて増収が見込まれることから、前年度に比べ19億円(+1.2%)の増となった。

〈個人市民税〉 株取引の活発化による分離課税分等の増収や、税制改正(均等割額の引き上げ等)の影響による増収が見込まれることから、対前年度5億円増の461億円。

【予算額 461億3,300万円 前年度比+1.1%、+5億0万円】

〈法人市民税〉 緩やかに景気が回復し、企業収益が改善してきているとともに、今後も、国の経済対策の推進等により景気の回復基調が続くことが期待されることから、対前年度11億円増の130億円。

【予算額 130億500万円 前年度比+8.9%、+10億6,300万円】

〈固定資産税〉 土地は地価下落の影響により5億円の減、償却資産は新規の設備投資減少により2億円の減、国有資産等所在市町村交付金は台帳価格の見直しにより1億円の減。一方、家屋は新增築により10億円の増。全体として対前年度2億円増の801億円。

〈都市計画税〉

【予算額 800億9,900万円 前年度比+0.2%、+1億8,600万円】

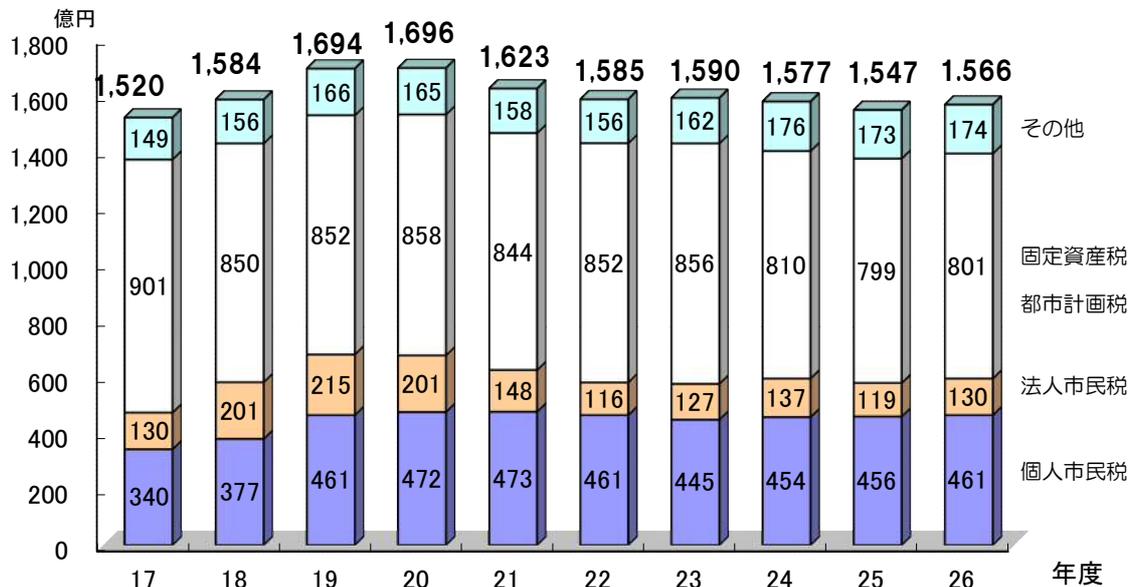
〈市たばこ税〉 市たばこ税は、売り渡し本数が前年度予算に比べて増加すると見込まれることから、対前年度2億円増の82億円。

【予算額 81億6,300万円 前年度比+2.7%、+2億1,200万円】

〈環境未来税〉 リサイクル等の影響による産業廃棄物の搬入量の減少が見込まれることから、対前年度1億円減の6億円。

【予算額 6億3,700万円 前年度比△10.2%、△7,200万円】

### 《市税予算の推移 当初予算ベース》



※その他：軽自動車税、市たばこ税、鉱産税、特別土地保有税、入湯税、事業所税及び環境未来税の合計額

問い合わせ先

財政局税務部税制課 菅 (TEL582-2030)